

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392200073
事業所名	グループホーム 奥町

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 地域交流の取り組みが、加速度的に進展している。 職員向けの救急救命講習や認知症サポーター養成講座に地域住民が参加し、消防音楽隊のボランティア演奏会には、地域からの参加を含め50名近い聴衆が集まった。 今年も利用者が町民運動会の玉入れに出場し、記念の参加賞をもらった。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 利用者、家族、市・介護保険課の職員、地域包括支援センター職員、民生委員、地域住民(元老人会役員)等が集まって、2ヶ月に1度の運営推進会議を開催している。 ホームからの報告に続き、参加メンバーによる活発な意見交換がある。参加者は、それぞれの立場から有益な情報を提供している。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 管理者は、各種の提出物を持って市・介護保険課を訪れているが、生活保護受給者が4名入居していることから、市・福祉課にも顔を出している。 福祉課を訪れた時には介護保険課にも挨拶に回り、良好な関係の継続を図っている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 夏と冬に家族会を開き、10名前後の家族が参加している。夏の家族会は、利用者と家族が協力して料理を作り、久しぶりの“親子水入らず”の関係を味わった。冬(12月)の餅つきでは、つき立ての餅を雑炊仕立てで食した。 今年から始めたブログは、日頃ホームに来られない家族から好評を得ている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎	○	◎		